

2018年10月号

一般社団法人
北海道歯科医師会
北海道歯科医師会HP <https://www.hokkaido-shikaishikai.com>

Hokkaido Dental Association "Doushikai Tsushin" D.NEWS

札幌 SAPPORO

平成30年度救急医療講習会(会員対象)

日時：平成30年7月7日(土)
午後3時より

場所：札幌会館大講堂

標記講習会が北海道大学歯科麻酔科の木村幸文先生、渋谷真希子先生、詫間滋先生、新田幸絵先生をお迎えし、32名の会員が参加し開催された。例年は秋の開催だったが、今年は7月盛夏の開催となり暑さを心配していたが、講堂のエアコンは良好に稼働し、快適な環境のなかでの講習会となった。



講習会は、最初に新田先生の1) 一次救命処置 2) 歯科用ユニット上でのBLS & AED使用 3) アドレナリン含有リドカイン塩酸塩製剤使用に注意が必要な症例 4) アナフィラキシーショック & アドレナリン筋肉注射についての講演があった。その後、一次救命処置、静脈路確保の実習が行われ、静脈路確保は輸液ルートの作り方、腕模型による実習に加え、今年も希望者会員相互による静脈路確保の実習が行われた。



今回は、会員の希望に即した講習会を企画する目的で、参加会員にアンケート調査を実施し多くのご協力をいただいた。(坂田直彦 記)

平成30年度第1回学術講演会

日時：平成30年7月21日(土)
午後3時より

場所：札幌会館大講堂

「歯を活かしきる歯科臨床」～わたしが本当に話したいこと～とした演題にて、東京都西東京市でご開業の押見一先生に講演いただき、歯科医師56名、歯科衛生士24名の出席があった。

患者の難しい要求や希望に対して、「接着」「歯牙移植」「歯牙移動」を用いて可能な限り期待に応える押見先生の情熱と高い技術力が感じられる症例を数多く見

ることができた。そのなかにはメンテナンス中における補綴物のリカバリー方法など、臨床に役立つヒントも満載だった。また、治療に大きく影響する患者の生活背景を知るために、押見先生が行っている「免疫力を高めるポイントテスト」「性格テスト」も症例のなかで紹介された。一人の人間としての患者に向きあう覚悟をもって全力を尽くす押見先生に感銘を受けた講演だった。(鈴木敏人 記)



十勝 TOKACHI

福祉まつり in おとふけ2018

日時：平成30年7月22日(日)
午前10時より

場所：音更町総合福祉センター

音更町社会福祉協議会が主催する「福祉まつり in おとふけ2018」が開催された。さまざまな団体がブースを出す中で十勝歯科医師会音更会による「歯科コーナー」が設けられ、歯科相談、口腔内写真撮影、フッ化物洗口体験、噛むかむチェック、入れ歯洗浄などがおこなわれた。歯科コーナーでアンケートに回答された来場者はくじ引きをおこない入浴券、電動歯ブ



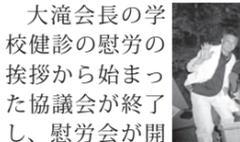
ラシ、入浴剤、歯ブラシなどを持ち帰った。気温が高い中でも、多くの来場者をおかえて昼前には景品がなくなり、盛況にて終了した。(大和志郎 記)

学校歯科連絡協議会(十勝歯科医師会帯広会)

日時：平成30年7月27日(金)
午後7時30分より

場所：インザスイート(帯広市)

大滝会長の学校健診の慰労の挨拶から始まった協議会が終了し、慰労会が開催された。日中は夏日となったが、さすがは北海道。日が暮れると涼しくなり屋外の会場ではやや肌寒く、室内へ移動する先生方もおられた。また、楽しくお酒や料理をいただいていると代謝が上がったのか、蚊との戦いもあちらこちらで聞かれた。



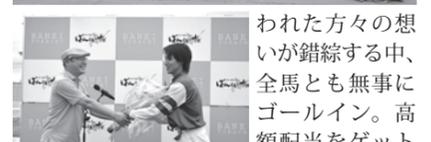
プレミアムフライデーでもあり、2次会ではさらに懇親を深めた夜となった。(田中早苗 記)

十勝歯科医師会家族野遊会

日時：平成30年7月29日(日)
午後12時より

場所：帯広競馬場・とちむら

今年の家族野遊会は、帯広競馬場で「野外焼肉・ばんえい競馬」を楽しむ企画が行われた。まず、競馬場内にあるショップ&グルメスポット「とちむら」で絶品の焼き肉を堪能。ビールとの相性はもう最高!! 満腹になったところで、今度は世界で唯一の「ばんえい競馬」体験。ばんえい競馬では一部をのぞくレースに個人協賛できる仕組みとなっており、今回は「十勝歯科医師会家族野遊会」と冠名のついた第1レースを観戦した。初心者向けに専門のスタッフから、ばんえい競馬の基本的な楽しみ方や馬券購入方法の説明を受けて、いよいよ発走。馬券を買



われた方々の想いが錯綜する中、全馬とも無事にゴールイン。高額配当をゲットされた方もいらっしゃったようだ。

個人協賛レースの特典で、プレゼンターとして大滝会長が勝利ジョッキーに花束贈呈を行い、最後に優勝鞍馬とともに記念撮影が行われた。

今年の野遊会は場所が帯広市内ということもあってか、例年よりも多数の参加者があり盛況のうちに終了となった。厚生部の皆さん、毎年楽しい夏の恒例行事を企画・準備・運営いただき、ありがとうございます。(南館直人 記)

室蘭 MURORAN

健康診断

場所・日時

室蘭会館：

平成30年6月30日(土)
午前7時30分から午後2時30分

平成30年7月21日(土)
午前7時30分から午後2時30分

登別市民会館：

平成30年7月7日(土)
午後1時から午後3時

伊達市総合体育館：

平成30年7月28日(土)
午前9時30分から午後3時

例年行われている室蘭会員およびその家族、従業員を対象とした健康診断が標記日程で行われた。この健康診断は会員の半数以上が受けており、会員にとっては健康の目安を図るものとして、家族や



従業員にとっても大切な健診となっている。宍戸福祉厚生部長が、船員保険北海道健康管理センターと日程調整を行い、札幌からレントゲン搭載の巡回健診車で出張してもらい、室蘭地区は室蘭会館で、登別地区は登別市民会館で、伊達地区は伊達市総合体育館で、計4回こちらに来ていただき各会場にて健診を行なってもらっている。室蘭会館で行われる健診は、土曜日の朝7時30分という早い時間から健診を行なっていただいております。土曜日の診療のある先生方には診療前の時間に健診を受けていただけるようになっている。また、どの会場でも健診を受けられるので日程の合う日時・場所で健診を受けられるのも受診者としては利便性が良い健診となっている。後日健診結果が各自に送付されること

になっており、これからの健康維持・改善に役立てていただきたい。(畠山雄一 記)

「歯と口の健康週間事業」反省会

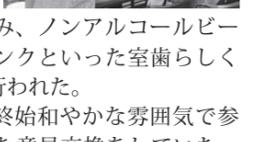
日時：平成30年8月1日(水)
午後7時より

場所：室蘭会館

6月2日(土)、3日(日)に行われた「歯と口の健康週間事業」の反省会が標記日程で行われた。室蘭会館からは仲川会長をはじめ、飯淵副会長、塚田副会長、藤井公衆衛生部長といった役員やお手伝いいただいた本会の会員の先生方、室蘭保健所や室蘭市役所、登別市役所など各行政の方々、歯科衛生士会、栄養士会、FMびゅーなど、協力いただいた各団体の方々にも参加いただき行われた。ここ数年、反省会は行われていなかったが、会員先生方や各関係団体の方々などから「意見交換をする場所があったら良い」と要望があり、今年度、再開することとなった。仲川会長の挨拶で始まり、出席者の自己紹介が行われた。その後、藤井公衆衛

生部長より今回の事業の報告があった。今年度の事業も盛況であったが、反省点や改善点、要望などが挙げられ、次年度以降の事業に参考にすべく活発に意見交換がなされた。いつもであればお酒を交え食事をするところだが、今回はオードブルを囲み、ノンアルコールビールとソフトドリンクといった室蘭らしくないスタイルで行われた。

しかしながら終始和やかな雰囲気に参加者はいろいろな意見交換をしていた。参加者からは、また次年度「さらなる事業へ頑張ろう」と話がでて大変盛り上がった反省会となった。(畠山雄一 記)



岩見沢

IWAMIZAWA

図画・ポスターコンクール一次審査

日時：平成30年8月28日(火)
午後7時30分より

場所：岩歯事務所

昨今の応募作品の減少を懸念し、今春、野崎副会長と山口学校保健部長が岩見沢市教育長を訪ね、このポスターコンクールを含む各学校歯科



事業への協力を依頼した。その結果、今年には市内6校から134枚のポスターが寄せられ、例年よりかなり多いことに一同安堵しながら一次審査を行なった。

今後も各小学校で夏休みの宿題として歯の健康ポスター作成が定着してほしいと願う。今年は比較的レベルが高い作品が多く、審査員も意気込みつつ頭を悩ませていた。(久恒泰宏記)

施設基準に係る研修会

日時：平成30年8月31日(金)
午後7時より

場所：岩見沢市コミュニティプラザ

講師：北海道医療大学歯学部教授 川上智史 先生

演題：超高齢社会に対応した安心・安全な歯科医療を提供するために

本会主催で空歯会、美歯会との合同で60名近くの先生方の出席のもと、標記講習会を開催した。講師の川上先生からは、世界に類を見ない超高齢社会を迎える我が国の現状に対応した安心・安全な歯科医療を感染対策に配慮しつつ提供するための方略について、150枚近くにもわたるスライドを用いてお話しいただいた。

院内感染防止対策・外来環では、緊急時の対応、医療事故、医療安全、院内感染防止対策のお話を、不幸にして事故が発生した場合は、患者の生命・安全を最優先にし、迅速に行動することはもとよ



り、適切な記録の保管、患者・家族とのコミュニケーションに十分な配慮しなければならない。

支援診・か強診では高齢社会や歯科訪問の現状から始まり、高齢者の全身的・歯科的特性、認知症高齢者について、超高齢社会の進展に伴う今後の歯科治療の需要などについてお話しいただいた。

最後に我々歯科医師は、健常者と認知症の中間にあたるMCI (Mild Cognitive Impairment: 軽度認知障害) のケース発見機能を担いうる可能性があるのではないか、と提言を受けた。(木村 悟記)

後志

SHIRIBESHI

ファミリーキャンプ

日時：平成30年8月4日(土)・5日(日)
場所：いわないリゾートパーク

オートキャンプ場 マリンビュー

出席者：井筒家2名、伊藤家3名、盧家6名、土方家3名、山田、長澤 計16名



猛暑も一段落した涼しい週末、アウトドア同好会によるファミリーキャンプが

行われた。各々の役割を熟知した常連家族がアツという間に会場設営。

長澤先生は、リクエストの多かったトルティーヤを作り、持参した。土方家は牡蠣など海の幸。盧家はチャーハン他とスパークリングワイン。伊藤家はスープカレーにピザ窯持参で焼いた本格ピザ。井筒家はコトコト2日煮込んだビーフシチューと「キャンプの飯」とは思えない

料理が今年も並んだ。夜には、いわない怒涛まつりの花火大会が始まり、それを丘の上から眺める。毎年のファミリーキャンプの風物詩である。

深夜、お湿り程度の小雨が降り、ここ数年で一番涼しい夜になった。2日目も朝から井筒先生が恒例のオムレツを作る。本当に旨いと絶賛されていた。ゆっくりと朝食をとり、その後記念撮影をして撤収。無事にキャンプは終了した。(山田一晴記)

ボウリング部 8月月例会

日時：平成30年8月7日(火)
午後8時から午後9時30分

場所：ファミリーボウル岩内

出席者：黒田、山田、伊藤、井筒、青山、長澤、中村 計7名 柏谷

優勝 青山、準優勝 中村、1位 井筒、2位 山田、3位 伊藤、4位、BB 黒田、BM 長澤

今大会は長澤先生が幹事として賞品を用意、大阪551の肉まん、餃子、焼売、冷麺が賞品となった。優勝は青山先生。



先月次女が産声を上げその写真を見たたん、パパパワーが炸裂。怒涛のストライクラッシュとなった。まだ離乳食には早いがごっそり賞品ゲット!

来月はバンパースが賞品にならないことを祈る。アテントなら(笑)

(伊藤 純記)

	①	②	③	HDCP
優勝	青山	192	258	224 31→18
準優勝	中村	174	206	197 32→32
1位	井筒	199	206	193 58→53
2位	山田	220	159	207 58→54
3位	伊藤	193	174	200 37→38
BB	黒田	185	198	208 35→33
BM	長澤	127	200	114 34→47

HDCPは先月までの平均Aveと今回のAveとで平均Aveを出し200からの80%で算出した。

第4回後志デンタルゴルフ

日時：平成30年8月11日(土・祝日)
午前7時30分から午後12時30分

場所：余市町

エーヴランドゴルフクラブ

出席者：柏谷良雄、佐藤智賀志、西崎公一、菊地 亮、練合哲哉、中川 徹、岡崎有志、原 公一、土方敬久、中村

直喜、白鳥信一、長澤 稔

会員12名

ゴルフ部ほぼ

フルメンバーの

12名が参加し、

にぎやかで楽し



いコンペとなった。曇り予報だったのに、微妙に雨に降られはしたが、みんなまずまずのスコアで上がってきた。優勝は熟練の技を見せた菊地先生、また元気に復活した佐藤先生が準優勝と遷歴済組が力を見せつけた。結果は以下のとおり。

	Out	In	Total	Hdcp	Net	
優勝	菊地 亮	45	44	89	20	69
準優勝	佐藤智賀志	49	45	94	21	73
1位	西崎公一	46	48	94	20	74
2位	土方敬久	41	38	79	4	75
3位	白鳥信一	41	54	95	20	75
4位	長澤 稔	44	45	89	13	76
5位	練合哲哉	43	43	86	9	77
6位	岡崎有志	52	51	103	23	80
7位	中川 徹	50	50	100	20	80
8位	原 公一	49	43	92	12	80
BB	中村直喜	57	56	113	26	87
BM	柏谷良雄	N	R	33		

(長澤 稔記)

千歳

CHITOSE

第69回北海道歯科医師野球大会(函館大会)Bチーム Cゾーン優勝祝賀会

日時：平成30年8月10日(金)
午後7時30分より

場所：恵庭市「小ばちゃん」

Bチーム優勝祝賀会が開かれた。杉江会長、前島Bチーム監督から挨拶

があり、祝宴が始まった。

Aチームからもたくさんの選手がお祝いに駆けつけた。さらにBチーム1人ひとりから大会での感想と優勝カップでの祝杯もあげ、多に盛り上がった。

今年の大会はAチームがAゾーンに昇格したが惜しい試合はあったが、残念ながら勝利を得ることはできなかったが、何とかAゾーン残留を決める。

Bチームは今大会の優勝でBゾーンに昇格することとなった。きびしい試合になると不安を口にしている者もいるが、その

顔には暗さなどない。特に平中選手はルーキーイヤーながらすばらしい活躍を見せ、早くも秋の練習試合に積極的な意欲を見せている。

きびしい試合になると思われるが「楽しさ」を忘れないでほしい。

Aチーム、Bチームの来年の健闘を祈りたい。

来年は札幌主管の札幌大会です。応援よろしく。(高津良二記)



カップに食べられているような? そうでないような?



オールドルーキーここにあり



こうやって飲んだ!



来年も現役?!

日高

HIDAKA

平成30年度第5回日高歯科医師会ゴルフコンペ

日時：平成30年8月5日(日)
午前8時3分スタート

場所：セベスヒルゴルフクラブ

今年度5回目となるゴルフ部の活動が行われた。お約束の小雨の天候でも6名のゴルフ部員が集まった。今回、ゲスト



も一名参加した。中村ゴルフ部部長の二連勝なるか。スタートとなった。

結果、青山が大量ハンデの力で優勝した。準優勝は、中村部長で、ベスグロだった。日高ハンデも6となり、ついに永遠のライバル西川会長に追いついた。3位の谷本 亮先生はドラコンも獲得された。

今年の日高歯科医師会コンペも残り2回となり、中村部長が今季好調を維持している。このまま年間最多勝利となるのか、他の先生が精神的な揺さぶりをかけて阻

むのか。次回のコンペも楽しみである。(青山哲也記)

学術講演会

日時：平成30年8月25日(土)
午後1時から午後2時30分

場所：ホテルローレル(新ひだか町)

我々の日々の臨床の中において基礎疾患として糖尿病を患っている方は難治性の歯周疾患を持つケースが多くみられる。こういった場合は歯周疾患と糖尿病のコントロールを共に改善していかなければならないのは周知のことである。

今年度の日高歯科医師会学術講演会は、

講師として前 北海道医療大学病院長、現在は社会医療法人母恋 天使病院 糖尿病・代謝内科相談役、北海道医療大学名誉教授の辻 昌宏 先生をお招きして、北海道医療大学病院でのケースをはじめ、糖尿病の9割以上を占める2型糖尿病の発症とその合併症予防の問題点などについてわかりやすく講演していただいた。

(中脇禎輝記)



旭川

ASAHIKAWA

旭川歯科学院専門学校就職ガイダンス

日時：平成30年9月25日(火)
場所：旭川歯科医師会館

旭川歯科学院専門学校の3年生を対象に、就職ガイダンスが行われた。

会員のみなさまが学生に対し直接PRできる場の提供として開催された。



学生の就職先に求める条件や価値観も多様化する中、参加された会員は、パワーポイントなどを用いて自医院のアピールをしていた。(今宮克明記)

「8020高齢者の歯のコンクール」と

健口普及公開講演会

日時：平成30年9月1日(土)

場所：旭川市大雪クリスタルホール

「8020高齢者の歯のコンクール」表彰式が行われ、今年も人生を大いに楽しられているお元気な方々の、晴れやかな表彰式となった。

また同日、健口普及公開講演会「ガッテン流!健康法の極意~お口の健康とメタボ対策、両立できちゃウラワザ教えます~」元NHK科学・環境番組ディレクター/「ためしてガッテン」演出担当デスク 北折 一 氏が開催された。長年の番組担当のご経験から得られた知識と独自の考

え方で、大変興味深い講演をいただいた。(今宮克明記)



苫小牧

TOMAKOMAI

第51回北海道歯科医師ゴルフ大会

日時：平成30年7月15日(日)

午前7時30分スタート

場所：帯広カントリークラブ
新嵐山コース

標記大会が十勝平野、日高山脈を背にした帯広カントリークラブ新嵐山コースにておこなわれた。Aフライト24名、Bフライト24名、シニアフライト15名の合計63名ものゴルフ好きの先生が全道より参加された。

当日はあいにく小雨が降る天候に加え、連日の雨による影響なのかラフは伸び放題、フェアウェイコンディションは不良、多くのアップダウン、砲台グリーンと過酷なコンディション、難コースであった。苫小牧からは4名の先生が参加、第49回と第50回大会で2連覇中の伊尾先生も参

加された。今回のコースレイアウト、コンディションは女性にとって相当厳しいハンディだったと思われ、残念ながら伊尾先生の3連覇は叶うことができなかった。

橘先生がBフライト6位、山岸先生が同15位、伊尾先生が同23位、私がシニアフライト3位という結果であった。

プレー中は大変だったが、記憶の1ページに残る大会となったことは間違いのないと思う。(豊巻裕一記)

苫歯会ビールパーティー

日時：平成30年7月20日(金)

午後7時より

場所：グランドホテルニュー王子 1階
レストランハルニレ

ビールを飲むにはまだまだ暑さが物足りない夜ではあるが、毎年恒例のビール大会が開催された。熊澤厚生担当理事による司会進行のもと、牛丸会長による挨拶、木村副会長による乾杯の発声でパーティー



はスタート。例年に比べると参加人数は少なかったものの、参加された先生、スタッフ、ご家族の皆さんに楽しんでいただけたイベントだったと思う。ビールに料理、恒例のビンゴ大会も行われ、楽しい時間はあっという間に過ぎていった。(関 俊也記)

北海道HIV歯科医療研修セミナー in 苫小牧

日時：平成30年8月26日(日)

午前10時より

場所：苫小牧市立病院

エイズ予防財団HIV医療講習会の一環として標記セミナーが苫小牧にて開催された。牛丸会長の挨拶に続き、北海道大学大学院歯学研究院口腔診断内科学教室北川善政教授、札幌医科大学腫瘍内科学講座血液内科学池田 博助教、医療法人



回生会大西病院 鳥谷部純行 歯科口腔外科部長、北海道大学病院 医療技術部前澤かおる 技師長、旭川医科大学 歯科口腔外科学講座 竹川政範 教授に講演いただいた。講演ではHIV感染症の現状、HIV感染症がコントロールのできる感染症となってきていること、死の病気ではなくなってきていることなどHIV感染症に関する事項から、スタンダードプリコーションに則った日常診療の準備、HIV歯科医療ネットワークといった実際の臨床現場における事項まで多岐にわたる内容であった。

また、セミナー後半には歯科用ユニットの感染防止用ラッピング実習まで行われ、歯科スタッフ全員で共有すべき有意義なセミナーであった。(関 俊也記)

函館

HAKODATE

第48回 函歯会レクリエーション大会

日時：平成30年8月25日(土)

午後5時より

場所：函館湾内クルーズ
五島軒本店

毎年恒例の標記レクリエーション大会が開催された。2月開催が通例となっているこの大会だが、今年は初の試みとして8月開催となった。

当日は偶然にも函館出身のロックバンド「GLAY」の野外ライブがあり、コンサ

ト会場の「緑の島」の脇を就航するブルームーン号に乗船しての函館湾内クルーズを体験した。甲板に出ると、コンサート会場の大スクリーンが見え、歌声も聞こえるため少し得をした気分での就航となった。しばらくして沖に出ると、船の中では「函館検定1級」の福井 隆先生による「函館ミニクイズ」が開催された。30分少々で湾内クルーズも終了となり、下船したあとは、場所を「五島軒本店」に移し「懇親会」が開催された。今年は過去最高の133名の出席者となった。初めに田嶋会長の挨拶をいただき、その後、本日最年少での出席となった北條弘之先生の乾杯の発声で開宴となった。今年の目玉は歌手の吉川晃司のものまねで有名な

「吉川工事中」さんらによるモノマネショーだ。吉川晃司の歌マネのあとは、浜崎あゆみの歌マネをするママさんや吉 幾三の歌マネのざ・MONCHIさんによるモノマネショーで会場は大いに盛り上がった。そして、毎年豪華景品のビンゴ大会へと続いた。

当日は台風19号・20号のダブル台風で開催が危ぶまれていたが、驚異の「晴れ男」ぶりを発揮し、しかも、「GLAY」のライブ当日に同時開催を執行できた「もっている男」加茂勝巳 厚生担当理事より挨拶をいただいた。最後の締め乾杯は澤木副会長からいただき、明日からの鋭気を蓄えたスタッフや家族が終了時間を惜しむ中、閉会となった。(向山英明記)



北見

KITAMI

北見歯科臨床集談会

日時：平成30年8月25日(土)

午後3時30分から午後6時30分

場所：北歯会館

北海道医療大学 口腔機能修復・再建学系 デジタル歯科医学分野 教授 正田一洋先生をお招きし「デジタルデンティストリーが日本の歯科診療を変える」と題し、講演いただいた。

小白歯クラウンCAD/CAM冠の保険導入により保険請求件数が最近増え、歯科技工士の作業環境が変化し、このことが働き方改革にいい意味で影響を及ぼして



いる。歯科技工士の成り手不足であと10年で約7千人が減少するそうだ。CAD/CAM冠の安定した予後のためには、安全な症例の選択、適切な支台歯形成、確実な接着操作が必要で具体的に分かりやすく、どのような方法で行うのが一番いいのか教えていただいた。今後、歯科におけるCAD/CAM技術への期待として、1. 新しい歯冠修復材料の確立 2. 歯科技工技術の変革 3. 歯科治療技術の変革が必要不可欠と最後に先生が仰っていた。個人的には、口腔内スキャナーの今後に期待したいと思った。(丸子修史記)

道東三歯会

日時：平成30年9月1日(土)、2日(日)

場所：ホテル黒部

道東三歯会が行われ北歯会 朝田副会長より開会の辞、北歯会 金山会長、道歯会 藤田会長より挨拶をいただき、中央情勢の報告があった。

協議事項として管内歯科技工士と歯科医院の需給バランスの現状と課題及びむし歯予防デーなど公衆衛生活動の具体的な取り組みについて討論された。その後、懇親会が行われビンゴ大会が大いに盛り上がった。

翌日、野球大会及び今年初めての試みでカーリング教室が行われた。中台部長のご尽力により当日ロコソラーレの本橋麻里選手が直々に指導してくださり、大変貴重な経験をすることができた。隣の



レーンではロコソラーレの本格的な練習を見ることができ、自分達の練習よりそちらの方が気になったのは私だけではなかったと思う。(丸子修史記)

釧路

KUSHIRO

8月三木会(納涼ビール例会)

日時：平成30年8月23日(木)

午後7時より

場所：炉ばた 浜番屋

全国的に台風と猛暑の今年の夏ですが、道東釧路人も7月後半の暑さに少しバテ気味であったが、さすが釧路。8月にはすっかり本来の涼しさを取り戻したこの時期、8月恒例の納涼ビール例会があった。本日は炭をおこし、魚介類を目の前で



炙りながらビールを堪能しようという担当の鹿野・川村両理事の粋な計らいであったが、当日は意外と夕方になっても暑く、目の前の燃える炭と格闘しながらの会だった。中谷会長の「残り少ない夏を楽しみましょう」という乾杯の発声で宴は始まり、イカ、牡蠣、ホッケなどを焼いて冷えた

ビールをいただき、短い釧路の夏の思い出を語りあっていた。

ビール例会常連の高田(泰)先生、本間(敦)先生の締めの乾杯でお開きになった。

30名の出席だった。(栗野俊哉記)

第22回根室健康まつり

日時：平成30年9月2日(日)

場所：根室市総合文化会館

第22回根室健康まつり～ふれあい健康フェスティバル～が開催され、約1,600人の来場者でにぎわった。健康まつりでは、プチ検診・救急消防・医科、歯科、薬剤相談コーナー・体力診断・大腸がん検診などのコーナーが設置



されていた。アトラクションでは、ふれあい交流事業やイスヨガ教室、健康運動体験、食生活改善などのイベントが行われていた。歯科相談コーナーにも、入れ歯や子どもの歯ならびに関する相談をはじめ、抗凝固剤を服用している方や骨粗相症薬を服用している方の歯科治療の相談等があり、多くの市民が相談に来られていた。(福井宣之記)